

# 住民協働

## 二戸市堀野地区の歩道整備

二戸地方振興局土木部

### 1 概要

県道二戸一戸線の二戸市堀野地区の沿道には、従来から商店街が形成され、また、平成 14 年には地区内に大規模ショッピングモールの開業、平成 16 年には県立二戸病院の移転新築等があり、自動車交通量は約 12,000 台/日、歩行者数は約 300 人/日と共に多くなっています。また、近年では、交通渋滞や交通事故も目立ってきていました。

このように地区の環境変化が大きいため、既存の道路空間の有効活用を基本とした安全で快適な「みちづくり」を実践しました。

事業を進めるにあたっては、道路を利用している堀野地区住民との協働により、平成 14 年度から平成 15 年度にかけて、「みちづくり」懇談会（4 回開催）とワークショップ（3 回開催）を重ねながら整備イメージを検討し、その後、平成 16 年度から平成 18 年度にかけて工事を実施しました。今後も歩道除雪や花壇整備などの地域住民の方々の協力を得ながら、地域の道路として管理・活用を進めていきます。

#### 堀野地区「みちづくり」の調査体制と各組織の主な役割

組織名	メンバー	役割
堀野地区「みちづくり」懇談会 ※1	地域の代表者 行政関係者 等	みちづくりに関する計画や利用ルールを決定する。
堀野地区「みちづくり」ワークショップ ※2	地域住民 等	地域住民の立場から「みちづくり」に関して自由な意見・提案を行う
事務局	岩手県、二戸市 等	「懇談会」と「ワークショップ」の運営、及び計画案の作成を行う。

※1 堀野地区「みちづくり」懇談会

懇談会委員は、二戸市商工会・堀野町内会・小学校 PTA・社会福祉協議会等を含めた 14 名で構成。懇談会は、H14.12～H15.11 にかけて、4 回実施。

※2 堀野地区「みちづくり」ワークショップ

参加者は、地域住民等で延べ 96 名。ワークショップは、H15.1～H15.10 にかけて、3 回実施。



ワークショップの様子

## 2 「みちづくり」の基本的な考え方

懇談会やワークショップの意見等を踏まえて、みちづくりのキャッチフレーズを次のとおり決めました。

### みんなに やさしい 堀野みち

- ”人へのやさしさ”を最優先し、子供からお年寄りまで誰もが使いやすい”みちづくり”を進める
- ”人へのやさしさ”を基本にしつつも、車の利用性、快適性にも配慮した”人と車の共存”を目指した”みちづくり”を進める
- 住民、商業者、行政が一緒になって”みちづくりやみち利用のルール”を考え、率先して行動する

## 3 「みちづくり」の基本計画

「みちづくり」の基本計画について、懇談会やワークショップの検討を踏まえて、次のように整理しました。

- 行政がすること（堀野地区「みちづくり」の工事内容）
  - 幅員の見直し（花壇の縮小による歩道の拡幅、駐車帯の確保）
  - 道路照明灯の設置
  - 歩道の段差の解消
  - 歩道舗装のカラー化
  - 雨水の排水性の向上（透水性舗装の採用）
- 住民や商業者がすること
  - 街路灯の設置 →堀野振興会が設置
  - 適切な除排雪の促進→堀野町内会が H17 から歩道除雪を実施  
(みんなの安心ゆきみちモデル事業)
  - 花壇の適切な管理 →町内会が自主的に管理

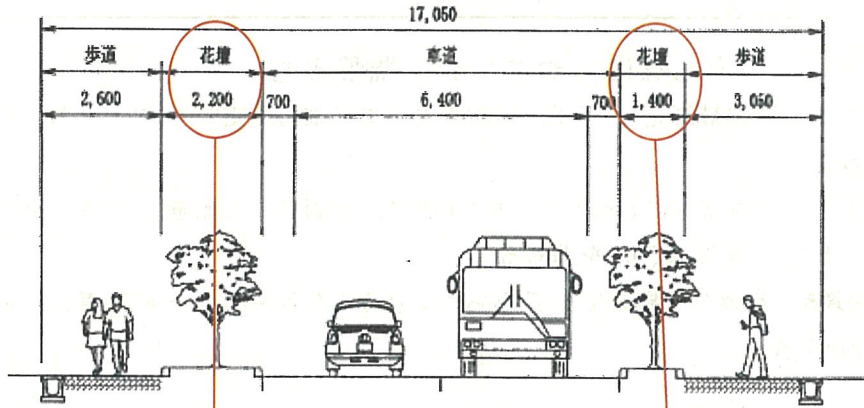
## 4 堀野地区歩道整備事業の概要

全体延長	880m
歩道幅	3.0m、花壇幅 1.0m、駐車帯幅 1.5m (両側)
全体事業費	2億6千万円
事業期間	H16～H18



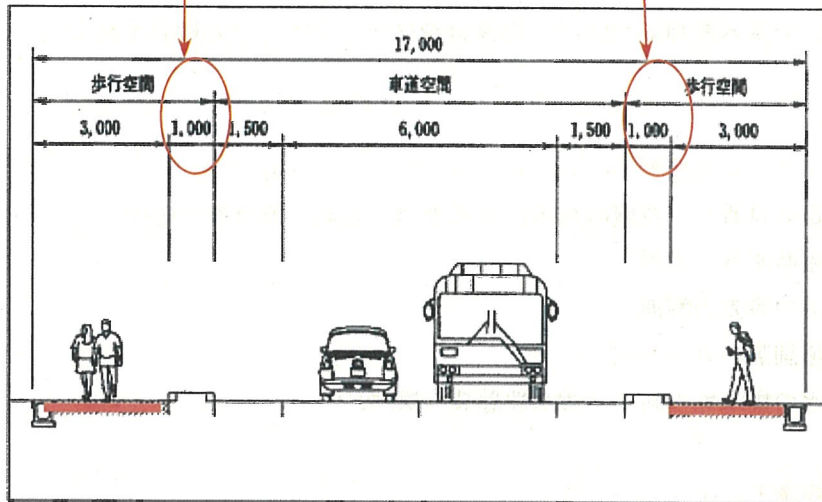
# 整備イメージ図

## マルホン付近現況 (17m)



整備前

## 標準断面 (17m)



整備後

## 整備状況

整備前



整備後



歩道も広がり明るくなりました

